

整形外科、手外科業績

近年 evidence based medicine が良く聞かれるようになりましたが、われわれも日々の診療内容を検討することでより良い医療を提供できるように努めております。以下に平成 16 年度以降の業績を記載します。

【学会発表】

Sakano H., Yasutake S., Okamoto R., Nakakouji M., Saito T. Surgical treatment of trigger fingers by a endoscopic pulley release. The33th meeting of American Association for Hand Surgery. Kauaii (Hawaii). 2003. 1

坂野裕昭, 石川博之, 岡崎 敦, 石井克志, 村田 淳. 橈骨遠位端骨折に対する Hoffmann 2 compact 創外固定器を用いた non-bridging 単独での創外固定術の適応. 第 17 回東日本手の外科研究会. 東京都. 2003. 2.

岡崎 敦, 坂野裕昭, 石川博之, 石井克志, 村田 淳. Leibinger Matrix plate による橈骨遠位端骨折に対する観血的整復固定術. 第 17 回東日本手の外科研究会. 東京都. 2003. 2.

村田 淳, 坂野裕昭, 石川博之, 岡崎 敦, 石井克志. 犬咬傷により発症した Bifidobacterium sp による第 1 中手骨急性化膿性骨髓炎の 1 例. 第 17 回東日本手の外科研究会. 東京都. 2003. 2.

坂野裕昭, 石川博之, 岡崎 敦, 石井克志, 村田 淳, 山田広志, 安竹重幸, 酒井直隆, 斎藤知行. 橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術の適応. 第 16 回日本創外固定. 骨延長学会. 甲府市. 坂野裕昭, 石川博之, 岡崎 敦, 村田 淳, 酒井直隆. 高齢者の不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術の術後成績. 第 46 回日本手の外科学会. 名古屋. 2003. 4.

岡崎 敦, 坂野裕昭, 中島邦晴, 岡本連三. 関節リウマチ手関節に対する関節固定術—A Ofusion plate と K-wire の比較. 第 46 回日本手の外科学会. 名古屋. 2003. 4.

坂野裕昭, 石川博之, 岡崎 敦, 石井克志, 村田 淳, 安竹重幸, 山田広志, 斎藤知行. A0 C1,2 型の不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術の術後成績. 第 76 回日本整形外科学会学術集会総会. 金沢市. 2003. 5.

石川博之, 坂野裕昭, 岡崎 敦, 石井克志, 村田 淳, 中島邦晴, 山田広志, 斎藤知行. 肩鎖関節脱臼および鎖骨遠位端骨折に対するチタン製肩鎖関節プレートの術後成績と問題点. 第 76 回日本整形外科学会学術集会総会. 金沢市. 2003. 5.

村田 淳, 坂野裕昭, 太田裕敏, 岡崎 敦, 葉梨大輔. 創外固定を用いて治療した陈旧性月状骨周囲脱臼の 1 例. 第 9 回神奈川手・肘の外科研究会. 横浜市. 2003. 10

村田 淳, 坂野裕昭, 太田裕敏, 岡崎 敦, 葉梨大輔. 創外固定を用いて治療した陈旧性月状骨周囲脱臼の 1 例. 第 9 回東日本手の外科研究会. 山形市. 2004. 1. 31

葉梨大輔, 坂野裕昭, 太田裕敏, 岡崎 敦, 村田 淳. 電動カンナによる指背側損傷に対する再建術を行った 1 例. 横浜市. 2004. 3. 13

坂野裕昭, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 斎藤知行, 酒井直隆. 背側骨欠損を伴った不安定型橈骨遠位端骨折に対

する non-bridging 創外固定術. 第 47 回日本手の外科学会. 大阪. 2004. 4.

岡崎 敦, 坂野裕昭, 太田裕敏, 葉梨大輔, 村田 淳. 当科における Dupytren 拘縮の治療成績. 第 47 回日本手の外科学会. 大阪. 2004. 4.

坂野裕昭, 太田裕敏, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 村田 淳, 斎藤知行. 高齢者の不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術の術後成績. 第 77 回日本整形外科学会学術集会総会. 神戸市. 2004. 5.

葉梨大輔, 坂野裕昭, 太田裕敏, 岡崎 敦, 村田 淳, 斎藤知行, 竹内良平. 鎖骨遠位端骨折および肩鎖関節脱臼に対する Clavicle Hook Plate の治療成績. 第 30 回日本骨折治療学会. 東京都. 2004. 7. 2

葉梨大輔, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦. 遠位端骨折および肩鎖関節脱臼に対する Clavicle Hook Plate の治療成績. 第 368 回横浜市立大学整形外科同門会談話会. 横浜市. 2004. 8. 7.

葉梨大輔, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦. 電動カンナによる伸筋腱欠損を伴った示指背側損傷の 1 例. 第 53 回東日本整形災害外科学会. 山形市. 2004. 9. 24.

権上和彦, 柳沢俊史, 岡崎 敦, 瀬崎壮一, 坂野裕昭. 療養病棟における情報共有化によるリスク管理. 第 53 回東日本整形災害外科学会. 山形市. 2004. 9. 24.

太田裕敏, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 葉梨大輔. 骨粗鬆症における骨代謝マーカーによるビスホスホネート製剤の評価: エチドロネート, アレンドロネート, リセドロネートの比較. 第 53 回東日本整形災害外科学会. 山形市. 2004. 9. 24.

権上和彦, 柳沢俊史, 岡崎 敦, 瀬崎壮一, 坂野裕昭. 療養病棟における情報共有化によるリスク管理. 第 53 回共済学会. 東京都. 2004. 10. 20.

岡崎 敦, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 葉梨大輔, 三ツ木直人, 岡本連三. 関節リウマチ手関節に対する手関節全固定術—A0 wrist fusion plate と k-wire の比較. 第 51 回神奈川リウマチ医会: 横浜市. 2004. 11. 27.

葉梨大輔, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦. AOC3 橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術の術後成績. 第 19 回東日本手の外科学研究会. 東京都. 2005. 2. 11.

Sakano H. Ishikawa H. Okazaki A. Hanashi D. Sakai N. Saito T., Non-bridging external fixation for unstable intraarticular fracture of the distal radius. 4th. combined meeting of the American and Japanese Societies for Surgery of the hand. Honolulu, Hawaii. 2005. 3. 19-22.

葉梨大輔, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦. 上腕骨頸部骨折に対する LHSP の術後成績. 第 44 回関東整形災害外科学会. 東京都. 2005. 3. 26.

坂野裕昭, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 斎藤知行, 酒井直隆. 高齢者の不安定型橈骨遠位端骨折に対する Hoffmann 2 compact 創外固定器による non-bridging 創外固定術. 第 48 回日本手の外科学会. 下関市. 2005. 4. 22.

葉梨大輔, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦. 橈尺骨遠位端骨折の治療における尺骨遠位端の内固定の必要性. 第 48 回日本手の外科学会. 下関市. 2005. 4. 22.

岡崎 敦, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 葉梨大輔. 尺骨茎状突起骨折を合併した橈骨遠位端骨折における手関節尺側部痛. 第 48 回日本手の外科学会. 下関市. 2005. 4. 22.

坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 斎藤知行, 石川博之. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術. 第 78 回日本整形外科学会学術総会. 横浜市. 2005. 5. 14.

坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 江口 純, 葉梨大輔, 河原芳和, 斎藤知行, 石川博之, 石井克志. 橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術. 第 124 回神奈川整形災害外科研究会. 横浜市. 2005. 6. 4.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 江口 純, 河原芳和. 陳旧性手指 PIP 関節脱臼骨折に対しパンタグラフ型創外固定器を使用した 1 例. 第 124 回神奈川整形災害外科研究会. 横浜市. 2005. 6. 4.

坂野裕昭. 症例検討 3 : 手関節部骨折. 第 31 回日本骨折治療学会. 富山市. 2005. 7.

瀬崎壮一, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 江口 純, 河原芳和. 大腿骨転子部骨折に対して cannulated cutter を用いたガンマーネイル法. 第 31 回日本骨折治療学会. 富山市. 2005. 7. 8.

坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 江口 純, 葉梨大輔, 河原芳和, 斎藤知行. 高齢者の不安定型橈骨遠位端骨折に対する Hoffmann 2 compact 創外固定器による non-bridging 創外固定術. 第 370 回横浜市立大学整形外科整形外科臨床談話会. 横浜市. 2005. 8. 6.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 江口 純, 河原芳和. 陳旧性手指 PIP 関節脱臼骨折に対しパンタグラフ型創外固定器を使用した 1 例. 第 370 回横浜市立大学整形外科整形外科臨床談話会. 横浜市. 2005. 8. 6.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 江口 純, 河原芳和. 橈骨遠位骨端線部分閉鎖に対し Langenskiold 法と仮骨延長法を行った 1 例. 第 12 回神奈川手肘の外科研究会. 横浜市. 2005. 10. 29

江口 純, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 河原芳和. Hoffman 2 micro 創外固定器を用いて治療した第 5 中手骨頸部骨折の 3 例. 第 125 回神奈川整形災害外科研究会. 横浜市. 2005. 11. 5

H. Sakano. Non-bridging external fixation for unstable fractures of the distal radius. 2006 Annual Meeting of American Association for Hand Surgery. Arizona. 2006. 1. 11-16.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 中島邦晴. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートの術後成績. 第 20 回東日本手の外科研究会. 甲府市. 2006. 2. 10

岡崎 敦, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 葉梨大輔. 橈骨遠位端骨折に合併した尺骨茎状突起骨折. 第 20 回東日本手の外科研究会. 甲府市. 2006. 2. 10

葉梨大輔, 日塔寛昇, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 岡崎 敦. 橈尺骨遠位端骨折の治療における尺骨遠位端の内固定. 第 20 回東日本手の外科研究会. 甲府市. 2006. 2. 10

瀧上秀威, 坂野裕昭, 瀬崎壮一, 江口 純, 河原芳和. 橈骨遠位骨端線早期部分閉鎖に対し langenskiold 法と仮骨延長術を行った 1 症例. 第 20 回東日本手の外科研究会. 甲府市. 2006. 2. 10

H. Sakano, H. Takigami, J. Eguchi, Y. Kawahara, H. Fukumura, T. Saito. : Non-bridging external fixation for unstable fractures of the distal Radius. International Foundation Society of Surgery of Hand, Sydney, 2007. 3.

H. Sakano, T. Saito. : Non-bridging external fixation for unstable fractures of the distal Radius. 2nd International Summit Forum for Orthopaedic Trauma. Guangzhou, 2007. 3.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 江口 純, 斎藤知行. : AO 分類 C 型橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートによる透視下整復固定術<術後成績と関節面の整復>. 第 50 回日本手の外科学会、山形市、2007. 4.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 江口 純, 河原芳和, 福村英信, 斎藤知行. : LIPUS を併用した不安定型橈骨遠位端

骨折に対する non-bridging 創外固定術。第 20 回日本創外固定・脚延長学会、弘前市、2007. 4.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 江口 純, 葉梨大輔, 河原芳和, 福村英信, 齋藤知行. 関節面の転位を有する橈骨遠位端関節内骨折に対する透視下整復・掌側ロッキングプレート固定術. : 第 80 回日本整形外科学会学術総会、神戸市、2007. 5.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 江口 純, 葉梨大輔, 河原芳和, 福村英信, 齋藤知行. : 不安定型橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術の骨折型別術後成績. 第 33 回日本骨折治療学会, 東京、2007. 6.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 江口 純, 齋藤知行. A0 分類 C 型橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートによる透視下整復固定術<術後成績と関節面の整復> : 第 374 回横浜市立大学整形外科同門会談話会, 横浜市, 2007. 8.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 佐藤美奈子, 大河内誠, 福村英信, 崔賢民, 齋藤知行. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する LIPUS を併用した non-bridging 創外固定術. 第 56 回東日本整形災害外科学会、軽井沢、2007. 9.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 佐藤美奈子, 大河内誠, 崔 賢民, 齋藤知行. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する LIPUS を併用した non-bridging 創外固定術. 第 11 回超音波骨折治療研究会. 大阪市, 2008. 1.

Takigami H, Sakano H, Okazaki A, Hanashi D, Saito T: Treatment of Metacarpal Phalangeal Fractures with the Low Profile Plate and Screw System. 10th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of the Hand. Sydney, 2007, 3.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 江口純, 福村英信, 齋藤知行: 手指骨骨折に対する観血的整復固定術後の可動域の獲得-Low profile plate と screw の比較-. 第 50 回日本手の外科学会学術集会, 山形, 2007, 4.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 江口純, 葉梨大輔, 河原芳和, 福村英信, 齋藤知行: 肘頭骨折に対するプレート固定法と引き寄せ締結法の治療成績の比較, 第 80 回日本整形外科学会学術総会, 神戸, 2007, 4.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 佐藤美奈子, 大河内誠, 崔賢民, 齋藤知行: 創外固定器を用いて治療した陳旧性月状骨周囲脱臼の長期成績-症例報告-, 第 56 回東日本整形災害外科学会, 軽井沢, 2007, 9.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 江口純, 河原芳和, 福村英信, 齋藤知行: 肘頭骨折に対するプレート固定法と引き寄せ締結法の治療成績の比較. 第 33 回骨折治療学会, 東京, 2007, 6.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 江口純, 河原芳和, 福村英信, 齋藤知行: 橈骨遠位骨端線早期部分閉鎖に対し Langenskiöld 法と仮骨延長術を行った 1 例. 第 20 回日本創外固定・骨延長学会、弘前, 2007, 4.

勝村哲, 平瀬雄一, 齋藤知行 重度脛骨開放骨折の広範囲軟部組織欠損に対して遊離腓腹筋弁を使用した 2 例. 第 34 回日本マイクロサージャリー学会 福島, 2007, 10.

石井耕士 徒手筋力測定評価器による人工膝関節置換術前後の筋力測定 第 38 回日本人工関節学会、沖縄、2008, 2.

崔賢民, 瀧上秀威, 坂野裕昭, 佐藤美奈子, 大河内誠, 齋藤知行. 潰瘍性大腸炎が原因と思われる著名な関節破壊を伴った難治性手関節潰瘍の一例. 第 13 回神奈川手肘の外科研究会. 横浜市. 2005. 10.

河野心範, 青田洋一, 坂野裕昭, 安竹重行, 齋藤知行: 頭蓋・上位頸椎に及ぶ Gorham disease の 1 例. 第 12 回横浜整形外科手術手技研究会, 横浜, 2010, 4

河野心範, 坂野裕昭, 安竹重幸, 岩村祐一, 藤原稔, 近藤総一, 三原久範, 青田洋一, 齋藤知行. 高齢者腰椎変性すべり症に対する腰椎椎間固定術後の治療成績-5年以上経過例について-. 第39回日本脊椎脊髄病学会. 高知市. 2010. 4.

岩村祐一, 稲坂理樹, 安部聡弥, 藤原稔, 青田洋一, 中村直行, 齋藤知行, 河野心範, 坂野裕昭, 三木英之, 安竹重幸. 腰椎変性側弯症に対する多椎間矯正固定術の意義-長期術後成績に影響する因子について-. 第39回日本脊椎脊髄病学会. 高知市. 2010. 4.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 石井耕士, 齋藤知行. A0分類C3型橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートによる透視下整復固定術における関節面の整復と術後成績. 第53回日本手の外科学会. 新潟. 2010. 4.

岡崎敦, 黒坂望, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折の掌側ロッキングプレート固定術における至適スクリュー位置のX線撮影評価法の新たな試み. 第53回日本手の外科学会. 新潟. 2010. 4.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 勝村哲, 石井耕士, 齋藤知行. 手指PIP関節掌側板付着部剥離骨折に対する観血的治療の術後成績. 第53回日本手の外科学会. 新潟. 2010. 4.

岡崎敦, 黒坂望, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 齋藤知行. DASHおよびQuick DASHによる橈骨遠位端骨折術後の機能評価. 第53回日本手の外科学会. 新潟. 2010. 4.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 雪澤洋平, 齋藤知行. 肘部管症候群におけるSimple decompression変法とKing変法の術後成績の比較. 第53回日本手の外科学会. 新潟. 2010. 4.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 石井耕士, 河野心範, 林陸, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 雪澤洋平, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折のfracture voidに充填した β -TCP気孔率の吸収置換への影響-気孔率60%と75%の前向き比較検討-. 第83回日本整形外科学会総会学術集会. 東京. 2010. 5.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野師範, 林陸, 石井耕士, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 新鮮骨折に対する低出力超音波パルス(LIPUS)の骨癒合促進効果-橈骨遠位端骨折に対するnon-bridging創外固定術での検討-. 第83回日本整形外科学会総会学術集会. 東京. 2010. 5.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 勝村哲, 河野心範, 林陸, 石井耕士, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートの術後矯正損失と3部位(橈骨遠位, 大腿骨頸部, 腰椎)の骨密度との前向き研究. 第83回日本整形外科学会総会学術集会. 東京. 2010. 5.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折のfracture voidに充填した β -TCP気孔率の吸収置換への影響-気孔率60%と75%の前向き比較検討-. 第83回日本整形外科学会総会学術集会. 東京. 2010. 5.

石井耕士, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野心範, 林陸, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 大腿骨転子部骨折に対する γ 3nail法におけるUlag screwとlag screw法の比較-前向き研究-. 第83回日本整形外科学会総会学術集会. 東京. 2010. 5.

渡邊 太, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村 哲, 三木英之, 河野心範, 梅本裕介, 村上恭平, 安竹重幸. 上腕骨顆上骨折変形治癒に対して矯正骨切り術を行った1例. 第380回横浜市立大学整形外科同門会談話会. 横浜市, 2010. 8.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 石井耕士, 堀武生, 岡崎敦, 葉梨大輔, 折戸啓介, 伊藤りえ, 安竹重幸, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折に対するfixed angle volar locking plate固定術の術後成績と年齢・骨折型の関連. 第36回日本骨折治療学会. 千葉市. 2010. 7.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 石井耕士, 河野心範, 梅本祐介, 山田俊介, 三木英之, 安武重幸, 雪澤洋平, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折のfracture voidに充填した β -TCP気孔率の吸収置換への影響-気孔率60%と75%の前向き比較検討-. 第36回日本骨折治療学会. 千葉市. 2010. 7.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 勝村哲, 河野心範, 梅本祐介, 石井耕士, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折術後(掌側ロッキングプレート)の矯正損失と3部位(橈骨遠位, 大腿骨頸部, 腰椎)の骨密度との前向き研究. 第36回日本骨折治療学会. 千葉市. 2010. 7.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 石井耕士, 河野心範, 梅本祐介, 山田俊介, 三木英之, 安武重幸, 齋藤知行. 葉梨之紀弾発指に対するトリアムシノロン腱鞘内注射療法の治療成績-トリアムシノロン注入量5mgと2.5mgの比較検討-. 横浜市. 第23回日本臨床整形外科学会学術集会. 2010. 7.

石井耕士, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野心範, 梅本祐介, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行, 紺野勉. 大腿骨転子部骨折に対する γ 3nail法におけるUlag screwとlag screw法の比較-前向き研究-. 横浜市. 第23回日本臨床整形外科学会学術集会. 2010. 7.

河野心範, 坂野裕昭, 三木英之, 瀧上秀威, 勝村哲, 梅本祐介, 石井耕士, 山田俊介, 伊藤秀憲, 安竹重幸, 岩村祐一, 久保田亘. 黄色靭帯骨化症を伴った強直性脊椎骨増殖症に胸椎椎体骨折を合併した1例. 横浜市. 第23回日本臨床整形外科学会学術集会. 2010. 7.

山田春菜, 坂野裕昭, 伊藤明美, 椎野絢子, 今永優里奈: 整形外科疾患を対象とした当院作業療法部門における患者満足度調査とその検討. 札幌市. 第59回共済医学会. 2010. 09

森山和の, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野心範, 三木英之, 梅本祐介, 村上恭平, 渡邊太, 安竹重幸, 齋藤知行. 屈筋腱断裂術後に生じたPIP関節屈曲拘縮に対してdigito-lateral flapを用いて関節授動術を施行した一例. 第59回東日本整形災害外科学会. 盛岡市. 2010. 9.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野師範, 梅本裕介, 村上恭平, 森山和の, 渡邊太, 三木英之, 安竹重幸, 岡崎敦, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術の合併症. 第 59 回東日本整形災害外科学会. 盛岡市. 2010. 9.

H.Sakano, H.Takigami, T.Katsumura, S. Yasutake, A. Okazaki, T. Saito. Arthroscopic assessment of A0 C3 intra-articular distal radius fractures after fluoroscopically assisted reduction . **International Federation of Societies for Surgery of the Hand. Seoul. 2010.11.**

H.Takigami, H.Sakano, T.Katsumura, S. Yasutake, A. Okazaki, H.Che T. Saito. Arthroscopic radiocarpal septums of operated distal radial fractures.

. **International Federation of Societies for Surgery of the Hand. Seoul. 2010.11.**

T.Katsumura, H.Sakano, H.Takigami, S. Yasutake, A. Okazaki, T. Saito. Clinical outcomes of treatment for cubital tunnel syndrome-Comparison of modified simple decompression with modified King' s method- **International Federation of Societies for Surgery of the Hand. Seoul. 2010.11.**

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 平瀬雄一, 齋藤知行. 下腿外傷に対して後脛骨動脈をレシピエント血管として選択した遊離組織移植組織再建-膝窩部または脛骨内果部での端側吻合の有用性-. 第37回日本マイクロサージャリー学会学術集会. 名古屋市. 2010. 11.20.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 河野心範, 梅本裕介, 村上恭平, 小野准平, 渡邊 太, 三木英之, 安竹重幸, 馬場紀行, 齋藤知行, 平瀬雄一. 脛骨骨幹部後面に皮質骨欠損を伴う GustiloⅢb 下腿重度開放骨折に対して Ilizarov 創外固定器と遊離組織移植により治療した 1 例. 第 24 回日本創外固定・骨延長学会. 札幌市. 2011.2. 12.

河野心範, 坂野裕昭, 三木英之, 瀧上秀威, 勝村哲, 梅本裕介, 村上恭平, 渡邊太, 小野准平, 安竹重幸, 星野正子. 腰椎椎間板ヘルニア摘出術直後に発症した網膜中心動脈閉塞症の 1 例. 第 21 回平塚市医師会臨床医学会, 平塚, 2011, 2.

渡邊 太, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 三木英之, 河野心範, 梅本裕介, 村上恭平, 安竹重幸. 上腕骨顆上骨折変型治療に対し Modified step-cut osteotomy による矯正骨切り術をおこなった一例. 第 141 回神奈川整形災害外科研究会. 横浜市. 2011.3.5.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 勝村哲, 河野心範, 梅本裕介, 村上恭平, 渡邊 太, 三木英之, 安竹重幸. 橈骨遠位端骨折の手術的治療. 第 141 回神奈川整形災害外科研究会. 横浜市. 2011.3.5.

H.Sakano, H.Takigami, T.Katsumura, S. Yasutake, A. Okazaki, T. Saito. A0 C3 intra-articular distal

radius fractures : Arthroscopic assessment of fluoroscopically assisted reduction. The 5th Combined Meeting of the Japanese and American Societies for Surgery of the Hand Maui. 2011. 3. 26-29.

【論文】

坂野裕昭, 斎藤知行. アキレス腱断裂に対する経皮縫合術. Monthly Book Orthopaedics. 16 (4), 31-38. 2003.

坂野裕昭, 斎藤知行. Hoffmann2 compact 創外固定器を用いた橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術. 骨・関節・靭帯. 16. 475~483. 2003.

坂野裕昭, 石川博之, 岡崎 敦, 石井克志, 村田 淳, 安竹重幸, 山田広志, 斎藤知行, 酒井直隆. C1,2 型の不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術の術後成績, 日本整形外科学会雑誌. 77. S270. 2003.

石川博之, 坂野裕昭, 岡崎 敦, 石井克志, 村田 淳, 山田広志, 安竹重幸, 中島邦晴, 斎藤知行. 肩鎖関節脱臼および鎖骨遠位端骨折に対するチタン製肩鎖関節プレートの術後成績と問題点. 日本整形外科学会雑誌. 77. S310. 2003.

Sakano H. Ishikawa H. Okazaki A. Hanashi D. Sakai N. Saito T., Non-bridging external fixation for unstable intraarticular fractures of the distal radius. 9th congress of the international federation of societies for surgery of the hand. 663-664. 2004.

坂野裕昭, 太田裕敏, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 村田 淳, 斎藤知行. 高齢者の不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術の術後成績. 日本整形外科学会雑誌. 78. S475. 2004.

坂野裕昭. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術と骨補填[オスフェリオン(β -TCP)]について. Current approach to bone replacement. 1. 1-7. 2005.

坂野裕昭, 瀬崎壮一, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 斎藤知行, 石川博之. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術. 日本整形外科学会雑誌. 79. S308. 2005.

岡崎 敦, 坂野裕昭, 斎藤知行, 石川博之, 石井克志. 関節リウマチ手関節に対する関節固定術—A0 wrist fusion plate と K-wire の比較. 日本手の外科学会雑誌. 21. 865-870. 2004.

岡崎 敦, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 葉梨大輔, 斎藤知行. 尺骨茎状突起骨折を合併した橈骨遠位端骨折における手関節尺側部痛. 日本手の外科学会雑誌. 22. 37-41. 2005.

坂野裕昭, 斎藤知行, 岡崎 敦, 葉梨大輔. 高齢者の不安定型橈骨遠位端骨片に対する non-bridging 創外固定術の適応と限界. J MIOS. 38. 2-8. 2006.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 岡崎 敦, 江口 純, 葉梨大輔, 河原芳和, 福村英信, 斎藤知行. 関節面の転位を有する橈骨遠位端関節内骨折に対する透視下整復・掌側ロッキングプレート固定術. 日本整形外科学会雑誌. 81: S199. 2007.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 江口 純, 河原芳和, 岡崎 敦, 葉梨大輔, 斎藤知行. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する Stellar プレートによる掌側ロッキングプレート固定術. 骨折. 29: 661-665. 2007.

Takigami H, Kumagai K, Latson L, Togawa D, Bauer T, Powell K, Butler RS, Muschler GF. : Bone formation

following OP-1 implantation is improved by addition of autogenous bone marrow cells in a canine femur defect model. J Orthop Res. 2007 Oct; 25(10):1333-42.

石井耕士, Open Dislocation of the Talus: A Case Report, 距骨開放脱臼の1例 日本小児整形外科学会雑誌. Vol. 17, 110-113, 2008.

坂野裕昭. 高齢者橈骨遠位端骨折の治療 掌側ロッキングプレート固定と non-bridging 型創外固定との比較. Mon Book Orthop. 23 .15-23. 2010.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 三木英行, 河野心範, 石井耕士, 林陸, 山田俊介, 安竹重幸, 齋藤知行. 屈筋腱断裂術後に生じたPIP屈曲拘縮に対して digito-lateral flap を用いて関節受動術を施行した1例. 日本手外科学会雑誌. 26 .217-218. 2010.

坂野裕昭. 高強度ベータリン酸3カルシウム(β -TCP). 臨床整形外科. 45.164-166. 2010.

石井耕士, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野心範, 林陸, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 大腿骨転子部骨折に対する γ 3nail 法における Ulag screw と lag screw 法の比較-前向き研究-. 日本整形外科学会雑誌. 84.S693. 2010.

瀧上秀威, 坂野裕昭, 勝村哲, 河野心範, 林陸, 石井耕士, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートの術後矯正損失と3部位(橈骨遠位, 大腿骨頸部, 腰椎)の骨密度との前向き研究. 日本整形外科学会雑誌. 84.S660. 2010.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 石井耕士, 河野心範, 林陸, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 雪澤洋平, 齋藤知行. 橈骨遠位端骨折の fracture void に充填した β -TCP 気孔率の吸収置換への影響-気孔率60%と75%の前向き比較検討-. 日本整形外科学会雑誌. 84.S522. 2010.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野師範, 林陸, 石井耕士, 山田俊介, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 新鮮骨折に対する低出力超音波パルス(LIPUS)の骨癒合促進効果-橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術での検討-日本整形外科学会雑誌. 84.S14. 2010.

雪澤洋平, 坂野裕昭, 勝村哲, 瀧上秀威, 石井耕士. 大腿骨近位部骨折における周術期静脈血栓塞栓症の発生率と血液凝固マーカーによる診断. 骨折. 32.594-597. 2010.

崔 賢民, 坂野裕昭, 佐藤美奈子, 瀧上秀威, 大河内誠, 齋藤知行. Prospective randomized studyによる大腿骨転子部骨折に対する Gamma3 nail での lag screw 刺入角の比較検討. 骨折. 32 .560-563. 2010.

坂野裕昭. 上肢骨折治療基本手技 橈骨遠位端骨折: プレート固定法. Mon Book Orthop. 23. 105-111. 2010.

坂野裕昭. 高齢者橈骨遠位端骨折の治療 掌側ロッキングプレート固定と non-bridging 型創外固定との比較.

Mon Book Orthop . 23. 15-23. 2010.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 河野心範, 梅本祐介, 村上恭平, 森山和の, 渡辺太, 三木英之, 安竹重幸, 齋藤知行. 弾発指に対するトリアムシノロン腱鞘内注射療法の治療成績-トリアムシノロン注入量5mgと2.5mgの前向き比較検討-. 日本整形外科学会雑誌. 85. S569 . 2011.

河野心範, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 梅本裕介, 村上恭平, 渡邊太, 森山和の, 三木英之, 安竹重幸, 岩村祐一. 高齢者腰椎変性すべり症に対する後方進入腰椎椎間固定術後の5年以上成績-後期高齢者, 前期高齢者, 非高齢者の比較-. 日本整形外科学会雑誌. 85. S483. 2011.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 河野師範, 岡崎敦, 堀武生, 石川博之, 葉梨大輔, 齋藤知行, 伊藤りえ, 石井耕士. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術におけるインプラント関連合併症と対策. 日本整形外科学会雑誌. 85 .S308 . 2011.

坂野裕昭, 瀧上秀威, 勝村哲, 石井耕士, 齋藤知行. A0分類C3型橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートによる透視下整復固定術における関節面の整復と術後成績. 日本手外科学会雑誌 . 27 . 579-582 . 2011.

勝村哲, 坂野裕昭, 瀧上秀威, 安竹重幸, 雪澤洋平, 齋藤知行. 肘部管症候群におけるSimple decompression変法とKing変法の術後成績の比較. 日本手外科学会雑誌. 27. 520-523. 2011.

坂野裕昭, 齋藤知行. 手術の巧【第3回】橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートを用いた整復固定術-Stellar Plateを用いた手術法の実際-. 関節外科 . 30. 259-270. 2011.

【著書】

坂野裕昭. 外来診療クイックマニュアル. 第3版. イーホープ. 2003.

坂野裕昭. 外来診療クイックマニュアル. 第4版. イーホープ. 2004.

坂野裕昭. 不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定術による治療. 手関節と肘関節-手術療法はどこまで進んだか. 新 OS NOW. 23. 8-17. 2004.

坂野裕昭. 手指の腱損傷. 臨床外科. 特集: 小外科・外来処置マニュアル. 59 (11). 290~292. 2004.

坂野裕昭. ドケルバン病. 臨床外科. 特集: 小外科・外来処置マニュアル. 59 (11). 296~298. 2004.

勝村 哲. 切断四肢. ドクターヘリ導入と運用のガイドブック, 日本航空医療学会 メディカルサイエン

ス社 p129. 2007.

坂野裕昭. 高齢者橈骨遠位端骨折の治療 : 早期 ADL 回復を目指して. 創外固定 non-bridging, bridging. OS now instruction No15. 21-35. メジカルビュー. 2010.

坂野裕昭. 観血的治療法 創外固定. 155-162 橈骨遠位端骨折 進歩と治療法の選択. 文光堂. 2010.

坂野裕昭. ここまで使える創外固定 低侵襲固定の最前線 : 不安定型橈骨遠位端骨折に対する non-bridging を用いた治療. OS now instruction No17. 27-44. メジカルビュー. 2011.